



時事 事 重 ねた

時事ねた - 平成 23 年度上期 -

時事ねたは、政治・社会・経済・国際・社会の問題を題材に扱った真面目な時事4コマ漫画です。

ページ	話数	用語
2	25	ソーシャル
3	26	外国人献金
4	27	特定アジア
5	28	汚染水放出
6	29	浜岡原発停止
7	30	斑目春樹氏
8	31	電力危機
9	32	江沢民元国家主席
10	33	関西の節電要請
11	34	中国高速鉄道事故
12	35	現代アート集团
13	36	アナログ停波
14	37	民主主義指数
15	38	死刑執行命令
16	39	ノルウェー連続テロ事件
17	40	辛亥革命

時事軒

ねた

挨拶

23年度上期開始

というわけで今年度も頑張る所存にございます。
予定通り行けば10月を目処にて冊子やPDFに纏めたものを頒布・配信しようと思います。
というわけで今年度も引き続きよろしくお願いします。

1. 女性天皇→反対
厳密には女系に反対
憲法9条→改憲
憲法全面改正を望む
2. 消費税増税→部分賛成
復興増税なら可
3. 自衛隊→名称を国防軍へ
空母原潜の保有
4. 核武装→議論の推進
先制攻撃→必要
5. TPP→賛成
但しEUとのFTAが先
6. 東京青少年条例→反対
厳格な自主規制を
7. 外国人参政権→反対
8. 温室効果ガス25%削減→即刻撤回せよ
9. 裁判員制度→廃止
10. 原子力発電→当面必要

ちなみに『時事ねた』はこういう基本的考えに沿って展開していくます。



■参考記事
とくになし

外国人献金

外国人からの献金は禁止されている。理由は単純、政治を間接的に外国人の手によって左右されるに外国人の手によるからである。民主党は恐れがあるからである。民主党は外国人参政権の付与を強力に推し進めているが、そのことと相次ぐ外国人献金の発覚は決して無関係とは言い切れないだろう。

3月11日未明に発覚した菅首相の違法献金問題は、直後の東日本大震災によって一旦棚上げになつた。あれからひと月が過ぎ、首相の進退問題が与野党からちらほら出てきだした。不幸な震災さえなければ確実に菅総理は辞職さ

していただろうことを鑑みれば、まさに今、日本は二重にも三重にも不幸な状況だと言える。

頻繁に首相を交代させるのは良くないという意見は一見するともつともらしいのだが、それは有能なトップがくだらない政局で頻繁に交代しているような状況下で言うことだ。菅首相は鼎負目に見ても有能とは思えない。

役に立たないトップが長く居座り続ける方がよっぽど国益を損うのだからして、お願ひだから一刻も早く日本の為に辞めて頂きた

私は忘れない



■参考記事

首相も外国人から104万円 受領認める 進退問題に発展も(産経)

<http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/110311/crm11031109180004-n1.htm>

特定アジア

ここにきて特定アジアの連中が軍事的挑発を活発に行いだした。特定アジアとは日本に敵対的な行動を行う国々の総称で、中国・北朝鮮・韓国にロシアを含んだ4か国を指す。ロシアはアジアか?という疑問が出てくるが、ロシアは極東情勢にも大きな影響力を持つので含めるケースが多い。主に保守的な立場の人々が好んで使う。

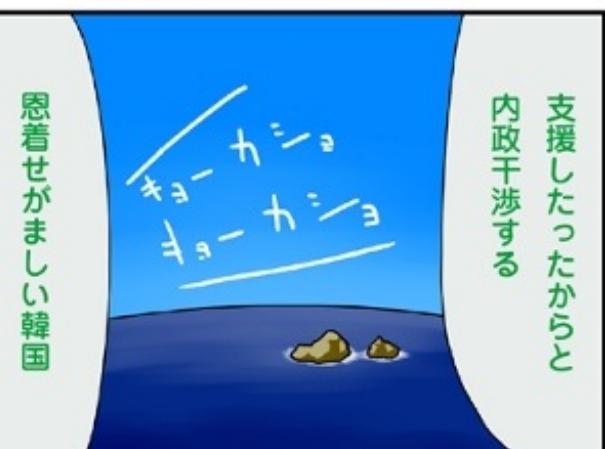
單刀直入に言えばロシアと中国は震災後の日本の対応だと日本同盟がどの程度機能しているかを観察している。ある意味いつも

それはそれこれはこれ

ここにきて特アの連中が活発になってきたでえ!

支援したったから
文句は言えまいと

支援したったから
内政干渉する



■参考記事

「後ろから殴られた」大震災支援にからめ 韓国メディアが「竹島」明記の教科書批判(産経)
<http://sankei.jp.msn.com/world/news/110405/kor11040508510000-n1.htm>

汚染水放出

東日本大震災で事故を起こした福島原発は放水車等による冷却を行っていたが、汚水の量が処理しきれず地下設備が危険にさらされた。東電は処理しきれなくなつた汚水に大量の水を混ぜそのまま海洋に放出させることになつた。緊急の状況であつたことから周辺国への連絡も事後報告となり、各国から強い非難を受けることとなつた。

周辺国は、えらそうに批判していくが、過去に中国・ロシアがいかに核実験で放射能汚染を撒き散らしたか、北朝鮮が人民の食糧を

は核兵器に変えてきたか、今更説明は不要だろう。北朝鮮の反応などもはや滑稽としか言いようがない。こういう時に鬼の首を取つたように駱駝立てる、そういう品の無い国にはなりたくないと思う。

お前がいな



■参考記事

- 汚染水放出やめよ ロシアが不快感(産経)
<http://sankei.jp.msn.com/world/news/110408/erp11040801440004-n1.htm>
- 中国、汚染水放出に懸念「国際法に従い行動を」(産経)
<http://sankei.jp.msn.com/world/news/110408/chn11040817430005-n1.htm>
- 原発事故で「管政権へ不満」「国際社会憂慮」と北朝鮮(産経)
<http://sankei.jp.msn.com/world/news/110331/kor11033122540005-n1.htm>
- 韓国政府、汚染水放出「国際法上、問題の可能性」憂慮伝達 日本外務省に(産経)
<http://sankei.jp.msn.com/world/news/110405/kor11040512200002-n1.htm>
- 韓・露「汚染水放出」説明会を欠席 事前通告聞き逃す(産経)
<http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/110418/dst11041809310010-n1.htm>

浜岡原発停止

安定稼動している炉をわざわざ停止させる理由が曖昧だ。東海地震の予想震源域に立地し、30年以内に震度6強以上の地震発生の確率84%というのが理由らしいが、「この「30年以内84%」という数字があまりにいい加減なものだ。そもそも福島第一原発の地震発生確率を震災前に0.0%と予想していたような連中の予言を信用できるわけがない。また、その情報意図的に隠蔽して浜岡のみを殊更に取り上げ停止させるやり方は卑劣の極みではないか。民主政権になつてから情報隠蔽の仕方が周

辺の独裁国家らしくなってきた。先日、福島第一原発一号炉がメルトダウンを起こしているとようやく認めた。菅首相も自身の脳みそがメルトダウンを起こして暴走していることを早く認め、一刻も早く冷温停止していただきたい。

暴走を止めろ



■参考記事

原子力発電 首相は再稼働を命じよ 電力不足は経済の活力を奪う(産経)

<http://sankei.jp.msn.com/politics/news/110513/plc11051303210005-n1.htm>

右のネタがやりたかつただけなので特に言いたいことはないんだけど、とりあえずおおまかに論評しておきたい。事の発端は、原子炉を真水で冷却していたのを海水に切り替えたのだが、一時海水の注入を中断した。この中断を誰が指示したのか?ということだつた。正確に言えば、中断を指示したのは首相だが、その中断を首相に進言したのはだれか?ということ。その時に細野首相補佐官が挙げたのが班目さんだつた。しかし、当斑目さんは事実無根で名誉毀損だ

班目春樹氏

でたらめ



■参考記事

班目氏が政府発表に「名誉毀損だ」と反発 政府は「再臨界の危険」発言を訂正
<http://sankei.jp.msn.com/politics/news/110522/plc1105220430013-n1.htm>

電力危機

菅首相の思いつきか、はたまた、嫁さんの入れ知恵か。浜岡原発が停止させられた。

明確な根拠も提示せずに危険だからと停止に踏み切ったおかげで、浜岡以外の原発地域が一斉に再稼働を拒否し始めた。浜岡は危ないから止めるけど他の地域は大丈夫と言つもりが、浜岡原発が危ないのだったら他の原発もあぶないに違ひないと解釈されてしまつた。結局菅首相の思いつきが全国の電力事情を大混乱に陥らせたのである。

誰が見ても(反原発の人は除く)

明らかに失政である。これだけでも十分辞める理由になるはずだ。

浜岡停止の余波



■参考記事

関西もギリギリの夏 予備電力ゼロ状態…原発4基が検査中
<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/110525/biz11052514430038-n1.htm>

江沢民元国家主席

徹底的な反日政策・反日教育を推し進め、今なお根強い反日感情を中國人民に植えつけた江沢民氏が死去した。と産経新聞が号外まで発行して喜んでいる。

一説には死亡ではなく脳死状態であるとも言われているが、中国当局が「死んでいない」以外、詳細な情報をお表しないので真相が分からぬ。もし、健在ではないにしろ生存しているならウソでも万里の長城を元気に走り回っているとか言つておけば良いものを教えてくれ口をつぐんでいるようにも感じられる。

「……」ことからして影響力は死んだと考えるのが自然だろう。氏は退任後も強い影響力を維持していたと考えられ、最近名前が知られてきた次期代表候補の周金平氏の後ろ盾となつただけに12年に予定されている「第18回中華人民共和国共産党党大会」の動向が注目される。

■参考記事

【産経新聞号外】江沢民氏が死去

<http://sankei.jp.msn.com/pdf/2011/07/20110707koutakumin.pdf>

江沢民死去か？



生前すごい極悪人
だったとしても
没してなお誹謗
するのは品の無い
事であります



江沢民死去
やつて！



ちょっと：
いま故人を
なんたらって
言つたやん



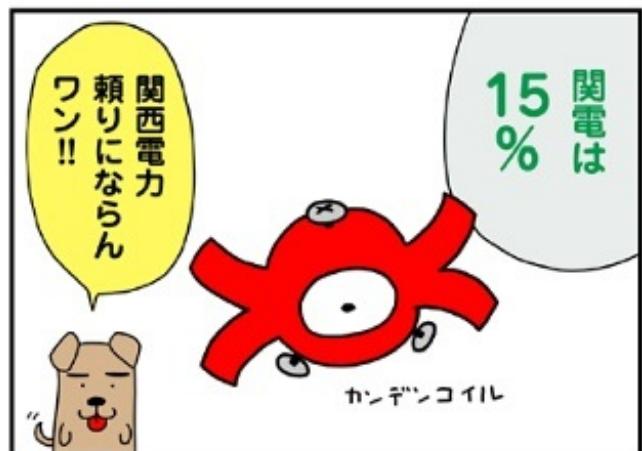
や 脳死
奴はまだ

関西の節電要請

結局どないやねん！
と言いたくなるような節電目標の乱立。全国のみなさん、今電力事情は関電が一番ヤバいです！！なんでこんなことになったのかと情がある。

関西電力管内の原発の比率は48%と他地域に比べてダントツに多いのだが、そこへ定期点検中の炉の再稼働が、根拠無き浜岡の停止のフリを食つて認められないことになった。さらに、姫路の火力発電所が故障で停止してしまった後、若干余裕の出てきた関電所が故障で停止してしまい、気づいたら、若干余裕の出てきた関

節電の夏



対岸の火事を眺めてたら知らぬ間に自分の家が燃えてて、しか

も、あたふたするだけで今も絶賛延焼中とは情けない。

■参考記事

橋下知事「何もしません」関西への政府要請を批判(産経)

<http://sankei.jp.msn.com/politics/news/110725/lcl11072514250002-n1.htm>

中国高速鉄道事故

中国高速鉄道の大事故は制御技術のトラブルと言われているが、パクリ技術を全部国産と言いつ張り世界最高の技術と豪語した挙句がこの事故とはなんとも皮肉である。おまけに、技術そのものをパクるに留まらず、新幹線がモチーフになつてゐるアニメまでまるごとパクる始末。“毒を喰らわば皿まで”とはこのことだ。

日本テレビの「バンキシャ」によれば信号システムはフランスのパクリらしく、日本の制御技術の信頼が揺らぐことは無いので一安心である。だがしかし、追突事故を起こ

した車両はE2系(日本車両ベ一ス)であり、本当に良い迷惑だ。こんな無茶苦茶な運営をするようなくに、わが国が誇る技術の結晶をみすみす売り飛ばしたJR東日本に、わが国が誇る技術の結晶と川崎重工は猛省するべきだ。

中国の高速鉄道事故



■参考記事

技術寄せ集め、業界も懸念 鉄道の制御系統(産経)

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/110803/chn11080320080010-n1.htm>

現代アート集団

そもそも芸術とは何か？無闇に物議を醸すことが芸術か？

そんなことを考えさせられるケースだったと思う。全部が全部そういう団体ではないが、一部の団体が目に余る行為を行っているのも事実。

チーボムという芸術家集団が岡本太郎先生の「明日の神話」を題材に、雰囲気を似せて作った福島原発事故を揶揄した絵を付け足した。その後代表が書類送検されたが、この一連の行為は芸術だろうか？ 単なる器物損壊だろうか？

芸術に理解のある人ほどこの事件を肯定し、そうでない人ほど批判的な傾向があるようだ。これは今後も大いに議論されるべき事柄だと思う。

ただひとつ気になるとしたら、「俺たちは崇高な目的のために芸術をやつてるんだぜ」と言わんばかりのおこがましい態度が透けて見えてこないだろうか。後だしジャンケンで自分達の芸術とやらに能書き垂れて自己を肯定しているだけではないか。後から名乗りり出るような卑怯な真似をせず、堂々と許可を取るなりして行動したらどうか。

岡本先生なら笑って今回のゲリ

カオスラウンジについては「著作権侵害＝芸術」と勘違いしている節があるが、そもそも「著作権侵害」「商標権侵害」はおろか「紙幣偽造」などグレーというよりクロ。物議を醸すというより危ない橋を渡つていいだけだ。これが芸術なら山遊園も大芸術だ。

■参考記事

原発事故をイメージ？ 渋谷駅、岡本太郎の壁画にいたずら ベニヤ板の別の絵が…(産経)
<http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/110502/crm11050211310005-n1.htm>
 pixivに関するインターネット上のご意見について
<http://www.pixiv.net/info.php?id=682>

芸術という名の



アナログ停波

7月24日正午をもってアナログ放送は(一部地域を除き)終了した。果たしてこのタイミングでの終了は妥当だったのか?一部の地域では妥当だったのか? 一部の大震災で被災した3県であるが、3県のみの延期によるのではなく全国一律延期で完全移行を目指すべきだったのではないか。アナルゴ放送終了時に10万世帯が地デジ視聴の準備を終えていないそうだ。本来こういった政策は若干延期されるのが良くあるパターンである。周知徹底が行き渡らないなど

の理由で移行期間が数ヶ月も数年程度伸びられるケースがある。米国では日本より一足先にデジタル放送を開始し、アナログ放送の終了を06年12月に設定したが普及が進まず終了時期を09年2月に延期した。しかし、その後再度4ヶ月の延期を行い09年6月にようやくと完全移行を果たした。また、日本の完全移行期間8年といふ期間は、英国の14年、米国の10年と比べてもかなり短い。

もし、民主党が政権政党じゃなかつたとしたらば延期されていたのではないかと思われる。つまり、アナログ放送終了は満了ではなく、民主党の無関心と

総務省の怠慢により問題を抱えたまま強引に終了したのではない

アナログ停波

あっさり
期日で
終わつたな

アナログ放送
終わつたねえ

一度も延期無しに終了
なんて無慈悲な
弱者切捨てしやがる
社会主義政権が聞いて
あきれるわ

地デジ化
済層

情報弱者

先に終了せな
アカンのは
民主政権やろが

政権交代するまでは
地デジのテレビ
なんていらんか…

時事軒

ねた

国際

民主主義指数

民主主義指数は、英誌エコノミストの下部研究機関が発表する、国別にどれだけ民主化しているかをランキング形式にしたもの。完璧な民主主義の国は全部で26カ国しか存在せず、欠陥がある民主主義の国を含めても79カ国しかない(ランクインは全部で167)。我々が崇拝する民主主義という概念は日本人が考えているよりも貴重な制度だと気づかされる。日本がワールドカップで対戦する国はどれもこれも下から数えた方が早い独裁国家ばかりである。FIFAランクよりも遙かに

低いランクに位置し、それらの国へ試合を行くのだから、試合以外での日本代表団の苦労は計り知れないものがあるのだろう。特に北朝鮮は言わずと知れた独裁国家であり、日本とは正式な国交がない(そもそも北朝鮮には日本大使館も無い)。なので外務省の渡航情報も北朝鮮独特の尺度「渡航を自粛してください」という

近はかなり危険な情勢だ。アフガンにも近いのでイスラム武装勢力の活動ルートになってしまっているらしい。相手国から見ると、治安がすぐぶる良い日本は旅行気分かもしれない。なんか腹立つてきた。

■参考記事
民主主義指数
(The Economist Intelligence Unit)
http://graphics.eiu.com/PDF/Democracy_Index_2010_web.pdf

独裁国ワールドカップ

1位 北朝鮮



ダントツ!

上層部が富と
食料を独占し
国民を手当た
り次第に餓死
させている。
拉致・殺人・麻薬密売・偽
札等あらゆる犯罪行為を
国主導で手がける究極の
犯罪国家!

外務省 渡航情報
渡航を自粛してください

4位 ウズベキスタン



カリモフ大統領が國を牛耳る社会主義の独裁国家。ロシアの頃の公社主義体制から

うなかなか脱却できずにいる。治安はタジキスタンよりは安定している。

外務省 渡航情報
十分注意してください

18位 タジキスタン



旧ソ連諸国の最貧国家のひとつ。

ラフモン大統領が着々と国を独裁体制に仕立てようと努力している。大統領の権限は強大で任期も7年と随分長い。

外務省 渡航情報
渡航の是非を検討してください

それ試合ほんまにできるん?



死刑執行命令

江田五月法相が死刑執行について、死刑執行を当面しないという発言を行った。要するにこれは「俺は死刑執行命令書に絶対サインしない」と意思表示しているのと同じだ。

刑事訴訟法475条第1項に「死刑の執行は、法務大臣の命令による。」とある。つまり死刑執行は法務大臣の仕事である。また、同2項に「2 前項の命令は、判決確定の日から6箇月以内にこれをしなければならない。」とある。つまり、法務大臣はこれを守らないと法律違反なのである。これは由々

死刑執行しない法相



■参考記事

死刑執行、当面は命じない…江田法相(読売)
<http://www.yomiuri.co.jp/national/news/20110727-OYT1T01244.htm>

ノルウェー連続テロ事件

ノルウェー連続テロ事件は、11年7月22日にノルウェーで発生した、右翼思想の犯人による銃乱射と爆弾テロによる大量殺人事件である。77人という犠牲者は単独犯による大量殺人では世界記録となつた。

この事件の影響で、ノルウェーでは死刑などの司法制度のあり方に疑問が投げかけられた。ノルウェーは死刑が廃止されているので、何人殺害していようと死刑になることはない。また終身刑も存在せず、最高刑でも禁固30年である。日本人からしてみれば驚くような

刑罰の軽さだが、死刑廃止が多数派の歐州ではごく一般的である。この一件は今日の歐州で蔓延しているリベラル化の負の部分を如実に表している。多文化主義を標榜し移民受け入れを急速に推進めた結果、移民と先住民との摩擦が大きくなってきたのだ。双方の文化の違い、経済格差、就職格差など多岐に及び解決は困難を伴う。

多文化主義の理念は素晴らしいが、理想と現実の乖離は大きくなるばかりだ。EUの経済問題とともに現在の歐州は多文化主義による弊害という新たな問題に直面している。

■参考記事

移民・イスラムに敵意 ノルウェー、テロ容疑者大量声明(朝日)
<http://www.asahi.com/international/update/0727/TKY201107260863.html>

祝・かまいたち新作



辛亥革命

先日10月9日、北京で辛亥革命百周年記念大会が開かれた。辛亥革命とは日本でも名前の人知られている中国革命の父「孫文」が行つた中国における民主主義革命のことだ。それまでの中国といえば皇帝が治める絶対君主国であり、二千年以上の長きにわたり続いてきた。孫文は清朝を倒し中華民国臨時政府を設立し民主化の礎を築いた。しかし、その後中国共産党が大陸の主導権を握り、結局民主化が成されたのは台湾だけとなつた。その共産党が何故か民主主義革命

命を記念する行事を開くというのは奇妙な話である。「孫文さん、見てください！我々共産党は辛亥革命から百年、炎死に頑張つたおかげで革命前の状態に戻すことができました！」と言つてるようにしか見えない。

さて、江沢民前国家主席が存命であることがわかつた。辛亥革命百周年記念大会に姿を見せたからだ。産経新聞は嬉々として江沢

ちなんに筆者もどうかで聞きかじつた脳死という情報を基に「32」でネタにしたのですが、脳死ですらなかつたので不本意ながらお詫びします。

江さん健在



■参考記事

「江澤民前中国国家主席死去」の報道について
(産経)

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/111009/chn11100915050005-n1.htm>

・あとがき

この度は本書を手にとつて頂き誠にありがとうございました。

今回は23年度上期といつゝとでしたがいかがでしたでしょうか？たった半年とはいえないいろいろな事がありました。政治は相変わらず停滞しており、震災の傷跡もまったく癒えず、希望の持てない日々暗い日々が続っています。先日、アメリカでは若年層のデモが米国の各都市で行われました。現在も進行中のようですが、抗議活動は逮捕者が出てほど熱く激しいもの您的です。

しかし日本では、そのようなデモはほとんど上がりません。若者が日本の未来に失望しているのか、それともそんな危機感を持ち合わせていかないのかはわかりません。しかし、大人し過ぎるのではないかでしょうか。この国の有権者の割合は随分前に50歳以上が過半数を占めました。つまり、政治家は少数组派の意見、つまり若年層に耳を貸さなくなりつづかれています。このまま放っておけばやがて若年層に厳しい時代がやってきます。みんなもつと声を上げましょう、いろいろなことじー！

最後になりましたが、本書を手にとつて頂いた皆様、本当にありがとうございました。
次は来年春に23年度下期版を出します。

平成23年2月 キサラギみかん

時事ね坛 平成23年度上期

発行日：平成23年10月16日
著者：キサラギみかん
発行：世界のスランプ

mikan kisaragi

e-mail:unyu@eos.ocn.ne.jp

世界のスランプ公式HP

URL:www2.ocn.ne.jp/~rantou

QRコードで
簡単アクセス！



スマホとかで
ご覧下さい！

